



**郡上市**  
**「清流の国ぎふ」づくり**  
**推進計画**

平成 25 年 5 月  
平成 27 年 7 月改定  
平成 28 年 5 月改定  
平成 29 年 1 月改定  
平成 30 年 1 月改定  
平成 30 年 5 月改定

**郡 上 市**

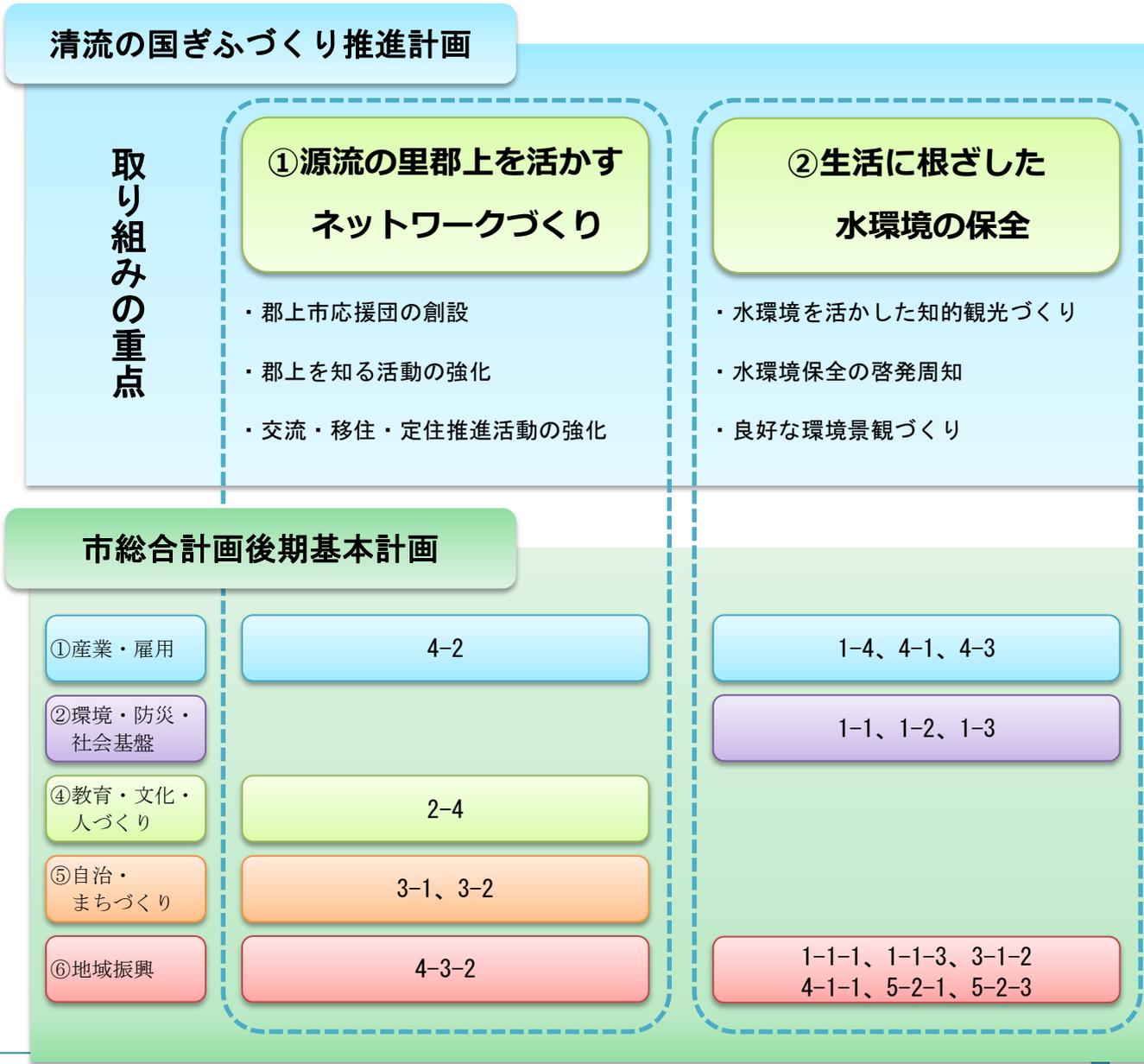


【1】目的

本計画は、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を契機に醸成された地域の絆や郷土への愛着・誇り、地域スポーツの盛り上がり、地域の魅力づくりや発信など、様々な取り組みをさらに発展させ、郡上市における「わがまち清流の国ぎふづくり」の推進を図ることを目的とする。

【2】本計画の位置付け

本計画における「清流の国ぎふづくり」の推進にあたり、郡上市の最上位計画である郡上市総合計画後期基本計画の重点である「地域資源を活かした産業振興」と「地域における支え合いの仕組みづくり」に沿って、分野別基本計画の政策6分野（①産業・雇用、②環境・防災・基盤整備、③健康・福祉、④教育・文化・人づくり、⑤自治・まちづくり、⑥地域振興）における各施策との整合を図るものとする。



【3】基本理念

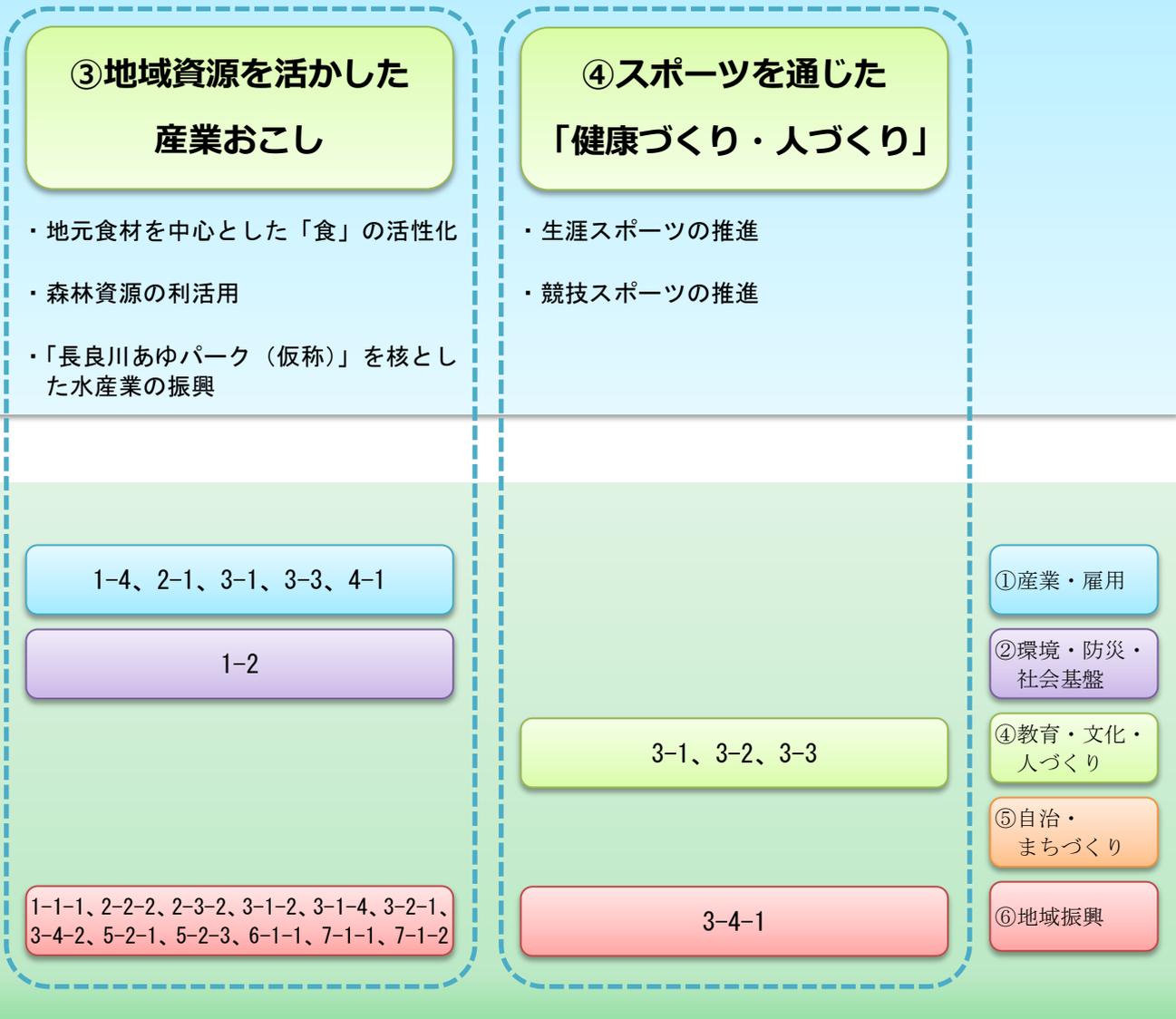
**清流の文化が薫るおもてなしの里 郡上**

長良川源流が育んだ里山文化の魅力を磨き、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を契機として高まったおもてなしの心をさらに向上させることで、清流と共生するふるさと郡上の総合的な価値の高まりを目指す。

【4】国体を契機として郡上市が進める主な取り組み

「わがまち清流の国ぎふづくり」を推進するため、4つの柱を重点として各種施策に取り組む。

- ①源流の里郡上を活かすネットワークづくり
- ②生活に根ざした水環境の保全
- ③地域資源を活かした産業おこし
- ④スポーツを通じた「健康づくり・人づくり」



## 【4】取り組み概要

### 1. 源流の里郡上を活かすネットワークづくり

郡上市が抱える少子化・高齢化による人口減少、地域活力の低下に対応するため、人的ネットワークの形成や市のPR活動の強化などにより、交流による地域づくりの活性化や交流人口の増加を図る。このことは、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」において、大会運営ボランティア活動や選手をはじめとした来訪者における宿泊先やまちでのおもてなしなど、様々な交流活動において醸成された、市民の郷土への愛着やおもてなしの心を持続・向上させ、郡上市のポテンシャルを一層高めていくものである。

#### 1) 郡上市応援団体の創設

(基本計画 ⑤-3-1、⑤-3-2 )

##### ①事業概要

日本全体で人口減少が進むなか、特に郡上市のような地方においては、都市部に比べて人口減少率が高くなると予想されており、今後、同じような問題を抱える自治体と交流人口の取り合いとなることが懸念される。その場合、他自治体と一線を画した綺羅星となるような「モノ」をどれだけ多く作ることが出来るかにかかっている。この「モノ」は「ハコ物」を作るのではなく、ハード・ソフト両方に当たり、国体を契機に更に深みがかかった郡上市のおもてなしの心を市全体に広め、郡上人の気質、営みを自分たちの宝物として最大限活かしていくことが重要である。今後、交流人口を増加させ、観光をはじめとした地場産業の活性化や地域の雇用の場の確保、また、移住・定住の促進につなげていくため、草の根運動で郡上市を応援していただける市外の方々のネットワークを形成する。

##### ②主な事業

- ・東京郡上人会交流会開催、組織拡充
- ・(仮称)近畿郡上人会開催、組織拡充
- ・日本三大盆踊り共演イベント実施事業
- ・白山開山 1300 年祭 メインイベント「姫神白山夢幻奏コンサート」

#### 2) 郡上を知る活動の強化

(基本計画 ④-2-4 )

##### ①事業概要

郡上市では、「郡上のこれまでと今を知り、これからについて考え、行動する」ため、郡上学を推進している。郡上市の過去と現在のありようを知ることが、これからの郡上づくりに取り組むための基礎であり、これを活かして将来の行動につなげていくことが重要なポイントとなる。両大会を通じて醸成された市民の意識を更に高め、来訪者に対するおもてなしの心の向上を図るため、自らが育った郡上を良く知り、学ぶことが大切である。そのため、現在行っている郡上学講座並びにふるさと考現学講座の内容拡充や受講者増に向けた取り組みを促進する。

##### ②主な事業

- ・郡上学総合講座開催
- ・郡上ふるさと考現学市民講座開催

### 3) 交流・移住・定住推進活動の強化

(基本計画 ①-4-2、⑥4-3-2 )

#### ①事業概要

郡上市の魅力として、自然、歴史・文化、そして人の温かさを挙げられる。市民がふるさとに誇りと愛着を持ち、市外から訪れた人に温かな「おもてなしの心」で接することが、来訪者の心を打ち、リピーター増につながるなど、郡上ファンを増やすポイントとなっている。

郡上市では、地元の人と来訪者との交流に重点をおき、地元の人が自分たちの言葉でふるさとの魅力を市外の人に伝えることで心の通い合う交流を進め、繰り返し来訪する中で短期滞在、移住、定住につなげようと、平成20年度に「郡上市交流・移住推進協議会」を設立し、事務局(窓口)として「ふるさと郡上会」を立ち上げた。活動としては、人の生き様や暮らしぶりについてインターネット動画や冊子などでの紹介や実際に地元の人と交流しながら地域社会や地域づくり活動など「ありのまま」を体験することができる交流機会などを提供している。このような取り組みにより徐々に成果を挙げてきており、全国的な情報誌でも注目されつつある。

今後は、自然と歴史の中で育まれた生活文化やおもてなしの心に更に磨きをかけ、情報発信や交流機会の提供を行い、交流と移住・定住の促進による地域社会の活性化地域コミュニティの形成に努める。

#### ②主な事業

- ・移住相談の実施、市内受入れ団体との連携
- ・ファンクラブ「ふるさと郡上会」の運営
- ・HP、フェイスブック等による情報発信、プロモーション活動
- ・市内交流体験提供団体との連携、イベント情報発信
- ・情報誌「里山の袋」発行(年4回(全6P各3,500部))
- ・気良歌舞伎楽器等購入事業
- ・ホテル積翠園駐車場造成工事
- ・古今伝授の里フィールドミュージアム 歌の街づくり施設設計業務

## 2. 生活に根ざした水環境の保全

約9割を山林が占める郡上市は下流域の水源として重要な役割を担っており、かけがえのない地域資源である。網の目のように張り巡らされた河川や様々な水利用形態、また、水を大切にすることは先人より受け継がれてきた貴重な財産を守り、また、地域の活性化につなげていくためには、特に生活に根ざした水利用について検証し、その利活用を推進する必要がある。このことは、「だれもが主役」のミナモ運動の展開や、関連事業として実施された市内河川の一斉清掃などを通じて高まった市民の環境意識を向上させ、また、新たな地域資源の発掘により強度を知り、郷土の誇り高めるものである。

### 1) 水環境を活かした知的観光づくり

(基本計画 ①-1-4、①-4-1、②-1-1、⑤-1-2、⑥1-1-1、⑥3-1-2、⑥5-2-1、⑥5-2-3 )

#### ①事業概要

郡上八幡は大学等学術研究機関の調査結果の発表を契機に、水のまちとしての知名度の高まりとともに住民団体による環境保全活動や先人の水利用の知恵と工夫を継承する取り組み、さらには行政における水を素材としてポケットパーク等の整備などの蓄積を経て現在に至っている。こうした動きは昭和40年代後半から始まっており、地域住民にとって郡上八幡の水文化は誇り高い地域資源として定着している。この大切な水文化をさらに磨き上げ、次代へ継承していくために、地域住民、民間団体、行政が協力して水資源を最大限に活かしたまちの魅力発信のための新たな仕組みづくりを行う。

このため、現在のまちの素顔としての水環境や生活と水との関わりをあらためて評価するとともに、魅力向上のための施設整備や環境などに関する価値観の変化や生活様式の変化を踏まえた新しい水利用形態を開発することで、郡上八幡の日常生活における水との付き合い方に新しい価値観を加える。さらに、地域住民等による水に関する環境保全活動、交流イベント、学習活動、商品開発等を活性化し、様々な人材が水文化を支える地域風土の高まりを目指す。

このほか、郡上市を縦断する長良川は、清流や水の恵みが、流域の人々の生活や産業・文化を支えてきた。郡上市はその源流域に位置する地域として、漁業や農林業をはじめ、人々の生活や多様な水文化など、多くの水の恵みを享受しつつ水環境を大切に守ってきた。こうした努力や良好な環境を次代につなげていくためには、流域全体で「価値」を共有していく取り組みが必要である。このため、地域と来訪者のふれあいを通じ、豊かな自然や伝統文化を守り、活かし、伝えるため、岐阜県が実施する「長良川あゆパーク（仮）構想」の取り組みについて郡上市も協力して事業推進を図る。

以上の取り組みを総合して知的観光資源として位置付け共通認識化を行い、多様なまちづくりの担い手により様々な場面において来訪者に格調高い魅力発信を行うことが出来る環境を整備する。

#### ②主な事業

- ・水辺空間総合調査
- ・水のまちづくり推進事業(水環境ツアー実証実験事業)
- ・水関連施設修景事業
- ・水のまちづくり推進事業(水環境総合パンフレット作成)
- ・いがわ小径修景事業

## 2) 水環境保全の啓発・周知活動

(基本計画 ①-4-3、②-1-1、②-1-2、②-1-3、⑥1-1-1、⑥4-1-1、  
⑥5-2-1 )

### ①事業概要

郡上市が持つ豊かな水環境を守り、次代へ受け継いでいくことは、現代に暮らす我々郡上市民の使命である。特に、河川や水屋、井戸、生活用水といった生活に深く根付いている水環境は、それを利用する人や維持管理する人と一体となって形成されている。近年、生活様式の変化や利用者の高齢化などにより施設利用者の減少や、水への関心度の低下が懸念されるなか、郡上八幡では水に関する情報の集積や水環境保全の啓発などを目的とした市民団体が発足している。今後、こうした民間活力と行政が協働して水環境保全活動の向上につながることを期待される。こうしたことから、郡上市にとって欠かせない大切な資源である「水環境」の保全や利活用について啓発・周知する活動の展開や保全に関する市民活動に対する支援を行う。

### ②主な事業

- ・水辺空間総合調査
- ・こども講座の開催
- ・2013 湧くわく水サミット開催
- ・水のまちづくり推進事業(水のまちづくり推進事業詳細設計)
- ・水のまちづくり推進事業(水環境学習施設整備)

## 3) 良好な環境・景観づくり

(基本計画②-1-3、⑥1-1-3、⑥1-2-1)

### ①事業概要

活力ある地域を創造するためには、定住の促進と交流人口の確保が重要であり、他と差別化できる競争力をいかに高めるかが重要な視点となっている。このため、地域固有の歴史・産業・文化を映し出す「心地よく」「愛着の感じられる」景観が極めて大きな役割を果たすとの認識も高まりつつある。

郡上市には、かつての城下町の面影を残すまちなみや、長良川、吉田川、和良川等の清流に沿った独特の水辺景観が残されており、それらが多くの人々を惹きつける集客資源となっている。これらの魅力をさらに高めて定住人口、交流人口を拡大し、地域活性化に結びつけていく上で、現在の良好な景観の維持・形成が一つの大きなポイントとなる。

中山間地域に位置する郡上市においては、人口減少、少子高齢化が大きな社会問題となっているが、一方で歴史的な町並みや豊かな自然景観がまだまだ多く残されており、これらの景観を保全し、またそれらを活かした良好な景観形成を住民自らが行うことによって、活力ある地域の創出を推進する。

### ②主な事業

- ・郡上市景観百景認定及び活動支援事業の実施
- ・郡上市景観賞の募集（隔年開催）
- ・夫婦滝誘客対策事業
- ・観光施設整備事業 城山駐車場公衆トイレ整備
- ・八幡城天守防災事業

### 3. 地域資源を活かした産業おこし

郡上市は、高知県の四万十川、静岡県の手田川と並び日本三大清流の一つである「長良川」の源流として広大な面積を有し、自然豊かな環境で育まれた「郡上鮎」や「和良川の鮎」、郡上を代表する高原野菜「ひるがの高原大根」など優れた素材が数多くある。また、「郡上の地味噌」「鶏ちゃん」など郷土に根付いた料理や「奥美濃カレー」に代表される創作料理など、地元食材を活かした味自慢の料理が数多くある。このほか、市の面積の約9割を占める森林や、その森林によって育まれた清らかな水など、数多くの資源が存在している。

全国的に永く景気低迷が続き、郡上市においても少子化・高齢化、人口減少が進むなか、地域産業の活性化の起爆剤として、交流人口の増加や産業の活性化につなげていくため、これら郡上が誇る資源を最大限活用することが重要となる。

このことは、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」において、地元農業女性起業グループ等により地元食材をふんだんに使用して作られた国体応援弁当や市内宿泊等における大会関係者や来訪者などへの食事の提供など、おもてなしの心と郷土資源の再認識など、郷土の誇りを胸に取り組んだ活動を更に向上させるものである。

#### 1) 地元食材による「食」の活性化

(基本計画 ①-2-1、①-3-1、⑥1-1-1、⑥2-2-2、⑥2-3-2、⑥3-1-2、⑥3-1-4、⑥3-2-1、⑥3-4-2 )

##### ①事業概要

「食」をキーワードとして地域資源を活かした地域づくりを推進するため、「食の祭典 in ぎふ郡上」開催や「B1グランプリ」参加などを通じて郡上の豊かな恵みをPRするとともに、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」国体応援弁当作りにおいて培われた地元食材を活かした新商品開発により、郡上市の新たな魅力となるよう支援することで、交流人口の拡大や地域産業の育成による地域経済の活性化を図る。

##### ②主な事業

- ・食の王国郡上事業
- ・B1グランプリ参加支援
- ・地元食材を使った商品開発支援
- ・獣肉利活用推進事業（ジビエ）
- ・安定した野菜苗供給体制推進事業

## 2) 森林資源の利活用

(基本計画 ①-3-3、⑥6-1-1 )

### ①事業概要

郡上市において面積の9割を占める山林は、最大量を有する地域資源である。以前から木材価格の低迷や後継者不足などから山林に対する関心が薄れ、現在、間伐などの「手入れ」が適正に行われていない山林が増大している。また、戦後、一斉に植林し、現在伐期を迎えつつある山林が年々増え続けており、その伐採が課題となっている。

山林は「清流」の源として郡上市のみならず、下流域にとっても非常に重要な役割を担っており、これまでも木材利用を促進するため、間伐材の活用として「郡上わりばしプロジェクト」や地域で間伐材の集積・販売につなげるため「めいほう里山もくもく市場」や「木の駅プロジェクト」などを実施してきている。今後、更なる山林活用を推進するため、これまでの取り組みに加え、木質バイオマスエネルギーシステムの構築や林業関連の企業誘致により森林活用を積極的に進める。

### ②主な事業

- ・木質バイオマスエネルギー循環システム構築
- ・郡上わりばしプロジェクト支援
- ・木の駅プロジェクト出荷者育成

## 3) 「長良川あゆパーク（仮称）」を核とした水産業の振興

(基本計画 ①-1-4、①-4-1、②-1-2、⑥3-1-2、⑥5-2-1、⑥5-2-3、⑥7-1-1、⑥7-1-2 )

### ①事業概要

郡上市の長良川水系で捕獲される「郡上鮎」は、平成19年に河川産の天然鮎として地域団体商標の登録となって全国に認知されており、平成20年には岐阜県「明日の宝物」にも認定されている。このほか、全国52の河川で鮎の味を競う「清流めぐり利き鮎会」において、「郡上鮎」や和良川の鮎がグランプリを獲得するなど、全国に誇る良質な水産資源に恵まれている。

郡上市では豊かな自然環境を活かし、ヤナやマス類（アマゴ・イワナ・ニジマス）の養殖などを行い、多くの釣り客、観光客を誘致してきているが、近年、鮎の漁獲量や釣り客の減少が続いている。

このため、岐阜県が整備する「長良川あゆパーク（仮称）」を中核として、市内各漁協と連携を図り、人と自然のふれあい、郡上の清流をアピールするとともに、漁獲量拡大のため重要な魚類の繁殖補助、新たな釣り人の創出や遊漁者の誘致を図る。

また、市内で生産される養殖魚は、河川放流、釣り堀、加工用など多様な用途があり、これからも消費者ニーズに応えた生産販売を推進する。

### ②主な事業

- ・漁業資源の確保（稚魚放流に対する助成など）
- ・伝統漁法継承事業
- ・世界農業遺産「GIAHS 鮎の日」担い手育成実証事業

## 4. スポーツを通じた「健康づくり・人づくり」

郡上市で開催された相撲競技会やぎふ清流国体・ぎふ清流大会応援事業として開催された郡上市スポレク祭やウォーキングなど各種スポーツ大会などを通じて醸成された市民のスポーツ意識や、参加者同士の交流による連帯感をさらに高め、健康で豊かな生活を送れるよう生涯スポーツの推進を図る。

また、本市出身者の全国大会や国際大会等への参加出場は市民の誇りであり、市民へのスポーツへの関心や意欲を高めることとなる。このため、競技力向上に向けて強化種目の育成支援や、各種スポーツ大会の郡上市への誘致に取り組む。

### 1) 生涯スポーツの推進

(基本計画 ④-3-1、④-3-2、④-3-3、⑥3-4-1 )

#### ①事業概要

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催により、健康づくりやスポーツを楽しむ意識が市民の間で高まっている。市内において、老若男女問わず気軽にスポーツに参加できる機会を充実させるため、公民館活動におけるスポーツ推進委員会を中心とした講座の開催や清流ウォーク等の各種スポーツ大会の開催などにより市民の生涯スポーツを推進する。

#### ②主な事業

- ・郡上市スポレク祭開催
- ・公民館等におけるスポーツ講座の開催
- ・総合型地域スポーツクラブへの支援

### 2) 競技スポーツの推進

(基本計画 ④-3-1、④-3-2 )

#### ①事業概要

郡上市で開催された相撲競技会を契機に市内の相撲人口の拡大と競技力向上を図るため、小中学生対象の相撲教室の開催や武道科目として相撲を必須としている中学校において指導に当たる教師への講習、また、国体を契機に復活した郡上市相撲クラブの育成強化や国体記念大会を位置付ける全日本女子相撲郡上大会の開催を行う。

#### ②主な事業

- ・日本女子相撲郡上大会開催支援
- ・相撲教室・相撲指導者講習会開催
- ・各種スポーツ団体への支援
- ・インターハイ開催事業
- ・体育施設整備事業（まん真ん中広場クラブハウス建設工事）
- ・高鷲吠高原スポーツ広場第2グラウンド芝生化測量設計
- ・スポーツ大会誘致事業

郡上市「清流の国ぎふ」づくり推進計画

平成25年5月策定

平成30年5月最終改定

郡上市 市長公室 政策推進課